

ダチョウの卵黄の エキスが花粉症改善で注目

京都府立大学の塚本康浩教授らの研究で、ダチョウの卵黄から抽出した抗体が花粉症によるアレルギー症状を抑えることがわかっています。ダチョウ抗体は、花粉アレルギーはもちろん、インフルエンザウイルスの活動も抑えてくれるため、世界中で注目を集めているそう。

「ダチョウ抗体マスク」は、もともとは、医療機関や行政機関などで利用されていましたが、一般の方々からの問い合わせが多くなり、昨年からは手に入りやすい状態で販売され、花粉症対策の強い味方に。

ダチョウ卵黄エキスを配合した化粧品も登場し、ミストは「見えないマスク効果の化粧水」として使えます。

ダチョウ抗体が花粉と瞬時に結合してカット。
「ダチョウ抗体マスク」
Sサイズ3枚入448円。
☎0948-29-1761(クロシード)

OST-Rich
PB Mist
namone

スギ、ヒノキ、ブタクサ、イネの花粉に対応。
「ナローネ オストリッチ PBミスト」3,990円。
☎03-3671-8731(日本ビューティコーポレーション)

ダチョウの卵黄
抽出抗体
濾過させたフィルターで
ウィルス除去
花粉も遮断

ダチョウ抗体マスク
ダチョウの力



治療時間は5分! 光融合型レーザー治療を体験

花粉症の治療としてすっかりメジャーになったレーザー治療。しかしレーザー治療にもさまざまなものがあり、治療時間や効果の発現時期が異なります。今回、記者が体験したのは、治療時間は5分、花粉シーズン中も治療ができて、2〜7日で効果を実感できるという話題の「光融合型レーザー治療」。スプレータイプの麻酔を行うので痛みもなく、効果は通常2〜3年しかも健康保険の適用があり、治療費は約1万円(3割負担)です。治療後は鼻水が出やすくなりますが、遅くとも1週間以内で治まり、そのあとはつらいアレルギー性鼻炎から解放されるからうれしい!

加減から、「ミディアムレア」といわれているそう。
「一般的なレーザー治療は強くレーザーを照射し、焼灼したり切除するため、一時的に鼻腔機能に支障をきたします。当院で行う花粉症治療は、弱くレーザーを照射し、粘膜を破壊するのではなく花粉に対する反応を鈍くするもの。レーザー照射を軽度にしても治療効果は変わらず、鼻腔機能に支障をきたすこともないので、「安心ください」



大城クリニック
東京都新宿区信濃町34 JR信濃町ビル2階
☎0120-70-0046

夜間や明け方にひどくなる 原因は、時計タンパク質!

今後、この免疫細胞の持つ時間をコントロールする方法が開発されれば、夜間のアレルギー症状の悪化を防げるようになるかもしれません。

花粉症による鼻づまりやくしゃみ、鼻水は、夜間や明け方にひどくなると感じたことはないですか? じつはこれ、「モーニングアタック」と呼ばれる状態で、多くの人が経験している症状なのです。

山梨大学の研究によると、花粉症を引き起こす免疫細胞は、時計タンパク質なるものを持っていて、時間帯によって花粉などのアレルギーに反応する強さを調節していることが判明しました。



まもなく保険適用に! 花粉症とサヨナラできる 舌下免疫療法

花粉症からついに解放される治療として話題を集めているのが「舌下免疫療法」。パンをちぎって舌の下に入れて、そこに花粉エキスを垂らすということを花粉シーズンの少し前から終わりまで行います。花粉エキスの量は徐々に増やしていくことで、体質を改善し、花粉に反応しなくなるといいます。さらに今年に入って舌下免疫療法のなめる治療薬「シダトレン」が厚生労働省に承認され、6月以降、保険適用で治療可能に。来シーズンは患者が殺到しそう。



花粉症対策の掃除3カ条

- 1 加温して花粉を落とす
加温することで空気中の花粉は床に落ちるので、そこを一網打尽に拭き取ります。
- 2 床の掃除は朝一番で
家族がまだ部屋を動いていない朝一番に床の花粉を拭き取っておけば、花粉が空気中へ戻るのを最小限に抑えられます。
- 3 拭き掃除法を駆使する
ホコリを舞い上げて鼻やのどを刺激するハタキ、ホウキはこの時期はやめ、使いきり可能な掃除シートでの拭き掃除がおすすぬ。